

2008 年

10 月 31 日（金曜日） - 手づくりの防災 『防災啓発ポスター』表彰；京丹後建設業協会 -

本日、京丹後建設業協会の皆さんの主催により「防災啓発ポスター」入選作品表彰式がありました。これは、今回 3 年目の取り組みで、毎年小学生の皆さんに防災啓発の図画の応募を求め、入選作をポスターにして啓発を行っておられますが、表彰には京都府、京丹後市はじめ多くの市内官署の皆さんも協力して開催をされています。本年は、網野町の 5 つの小学校の 5 年生・6 年生の皆さんから募集され、214 点もの応募があったとのことで、そのうち 10 人の子どもたちの作品が入選をされました。同協会の皆さん、応募の小学生の皆さんはじめ全ての関係者の皆さんのご努力に心から感謝を申し上げます。

どの作品も、災害に注意しよう、命を大切にしよう、という子どもたちの真剣な願いが込められている様子がよく表されていて、自然、とても感銘をうけましたし、図画に籠められた純粋な思いがストレートに伝わってきて改めて私たち皆でいろいろな形で防災に努めていくことの大切さが心に刻まれる思いです。また、子どもたちにも今回の取り組みを通じ、防災の大切さ、命は宝であることなどの思いがより一層育まれたようですし、日ごろから備えを十分にさせていただいて安全安心な生活に尽くしていただきたいです。

最近、全国的に局地的な豪雨が頻発している傾向がありますが、水害に限らず災害はいつ起こるかかわからないわけで、もちろん行政が防災、減災に常に尽くしていくことが欠かせませんが、大切なことは、行政とともに、何より一人ひとりの住民の皆さんご自身が、いろんな分野で防災の意識を日ごろからしっかりと持ち、備えに努めていただくことであります。その点、この事業は、まずは京丹後建設業協会の皆様自身の防災の取り組みでありますとともに、同時にかけがえのない小学生の子どもたちの防災意識の向上を促す取り組みでもあり、そして、ポスター掲示によって広く住民の皆さんへの防災意識の啓発のための取り組みでもあるわけで、子どもたちをはじめ多くの住民の皆さんの参加と啓発がかね合わされて促されるとても意義深い住民協働の防災の事業であります。主催の京丹後建設業協会の皆様のご慧眼とご尽力に心から敬意を申し上げますとともに、ポスター図画一枚一枚にこめられた人の命の大切さを想う子どもたちの心からの願いにより、啓発が広く進み、住民皆さん互いたがいに心をともに力を合わせた手作りの防災の取り組みと備えがすみずみまで進み、今後とも限りなく災害の少ないまちづくりが広く進みますよう、心から祈念をし、誠心誠意努力を傾注していきたいと思ひます。